



エコアクション 21

環境経営レポート

2019 年度

2019.4-2020.3

(作成日：令和 2 年 6 月 19 日)

(改訂日：令和 2 年 7 月 22 日)

エコアクション 21

認証・登録番号 0003386

株式会社 第一産業

目次

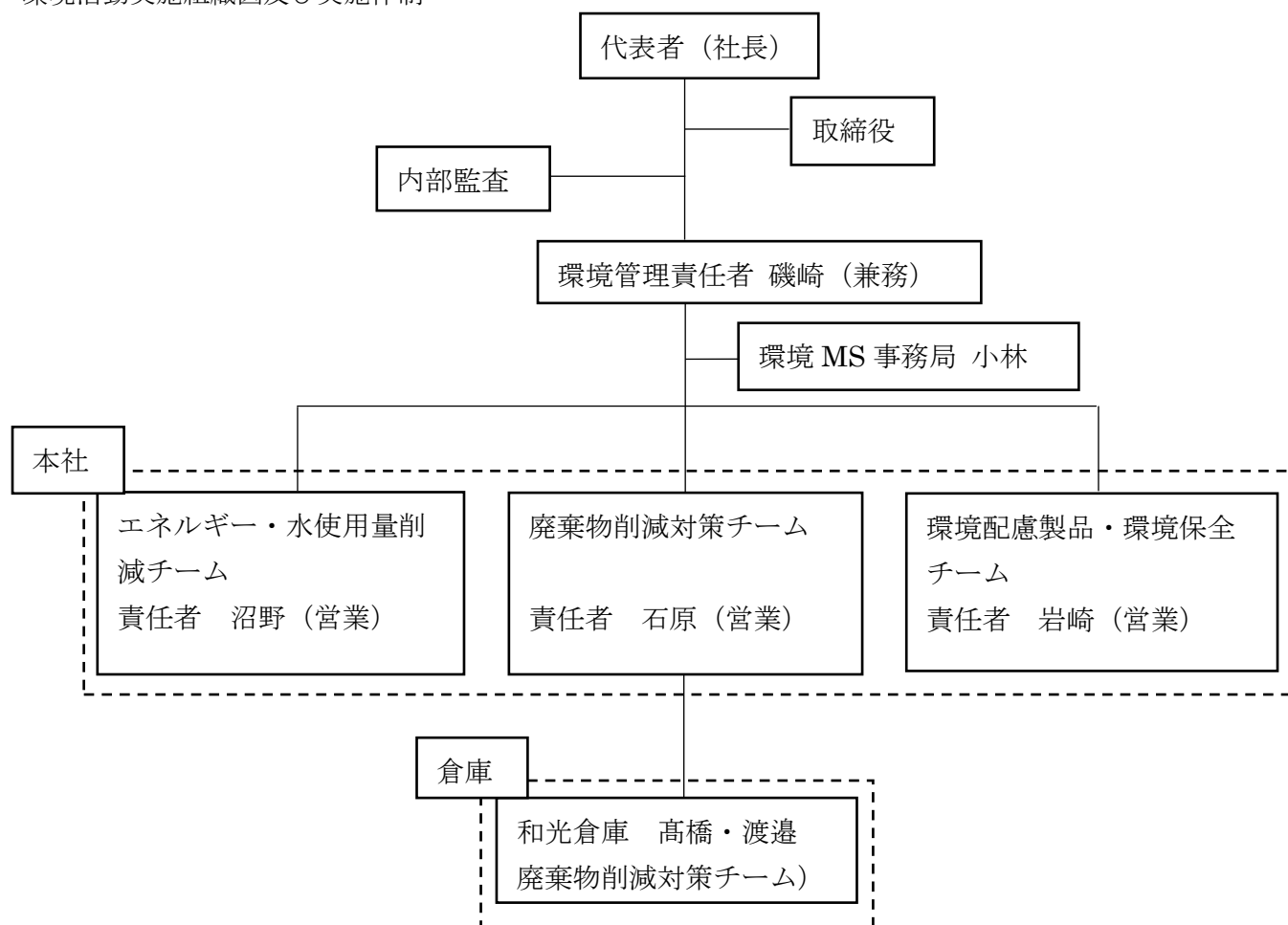
〔1〕 対象範囲	3
〔2〕 組織の概要	3
〔3〕 環境経営目標	4
〔4〕 環境経営方針	5
〔5〕 環境経営計画	6
〔6〕 環境経営目標の実績	7
〔7〕 環境経営計画の取組結果とその評価	8
〔8〕 次年度の取組内容	9
〔9〕 環境関連法規等の遵守状況の 確認及び評価の結果、並びに違反、 訴訟等の有無	10
〔10〕 代表者による全体評価と 見直しの結果	11
〔11〕 認証12年継続にあたり	12

1. 対象範囲

認証・登録事業者 株式会社第一産業
東京都板橋区成増 1－7－2 1
認証・登録の 包装資材及び諸資材の企画、設計（提案）、制作
対象活動範囲 販売
対象事業所 本社
和光倉庫
全組織・全活動を認証・登録の対象範囲とする

2. 組織の概要

事業社名及び代表者名
株式会社第一産業
代表取締役 長谷川二郎
所在地
東京都板橋区成増 1 丁目 7 番 2 1 号
TEL 03－3938－7711
FAX 03－3938－7720
環境管理責任者氏名及び連絡先
磯崎 孝 TEL 03－3938－7711
事業内容 包装資材及び諸資材の企画、設計（提案）、制作、販売
事業の規模
資本金 28,000 千円
創立年月日 昭和 31 年 11 月 29 日
売上高 10 億 8,609 万円
従業員 23 名（内、和光倉庫 2 名）
本社
所在地
東京都板橋区成増 1 丁目 7 番 2 1 号
延床面積 853.75 m²（内、和光倉庫 476.00 m²）
敷地面積 667.64 m²（内、和光倉庫 441.07 m²）
和光倉庫
所在地
埼玉県和光市南 1 丁目 13 番 5 号（和光倉庫）
全組織・全活動を認証・登録の対象範囲としている



3. 環境経営目標

基準年（2017 年）	排出係数	2019 年度 基準年比-1%	2020 年度 基準年比-1.5%	2021 年度 基準年比-1.5%
温室効果ガス排出量 (kg-Co2) (56,482)		55,918	55,635	55,635
電気使用量の削減 (kWh) (21,704)	0.455kg-CO2/kwh	21,487	21,378	21,378
ガス使用量の削減 (m³) (723)	2.16kg-CO2/m³	716	712	712
ガソリン使用量 (L) (19,416)	2.32kg-CO2/L	19,222	19,125	19,125
水使用量 (m³) (維持管理) (227)		227	227	227
紙資源の削減 (kg) (640)		634	630	630
廃棄物の削減 (kg) (維持管理) (1,000)		1,000	1,000	1,000

電力の CO2 排出係数は、東京電力(平成 30 年度)調整後排出係数 0.455kg-CO2/kwh を使用した。

4. 環境経営方針

1. 基本理念

当社は創業以来 包装梱包に関する仕事を社業としてきました。現状は集約され「包装資材及び諸資材の企画設計（提案）による制作販売」を主とする仕事を社業としています。提供する製品及びサービスを通じ社会に貢献することを目指しています。

2. 基本方針

1. 当社は 取扱品や業務上の行動や備品設備等 全ての企業活動の面で 出来る限り環境保全が 確保され推進されるように努めます。

- ① 当社の行う事業活動及び 製品に係わる環境負荷を低減し 環境に配慮した事業活動を行うと共に 省エネ啓発活動など 環境貢献に努める
- ② 二酸化炭素排出の削減 電力使用量及び石油起源エネルギー使用量の削減をする
- ③ 水資源の使用量削減をする
- ④ 廃棄物の削減をする
- ⑤ 環境意識向上の推進をする

2. 当社は 環境に関する 法的及び当社が同意するその他の要求事項を確実に遵守して 環境保全に努めます。

3. 当社は 社内の会議や打ち合わせ等の会合で 全従業員に上記 2 項目について 内容が認識され実行されるように努めます。

4. 経営環境の継続的改善を推進します。

2020年2月5日

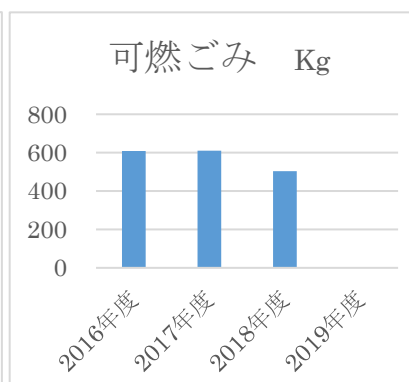
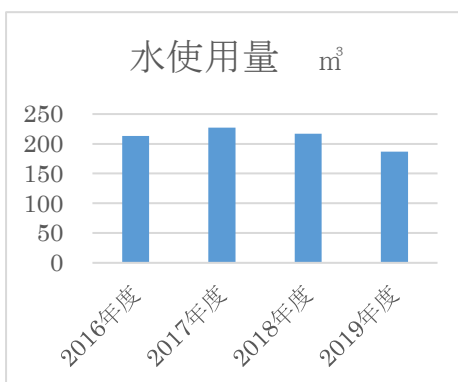
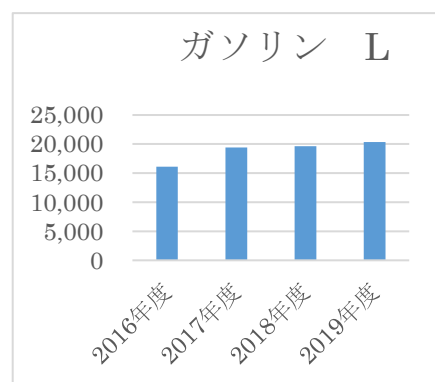
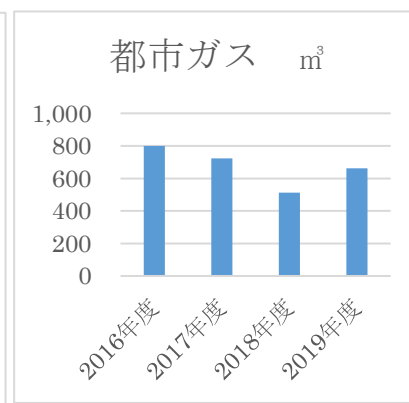
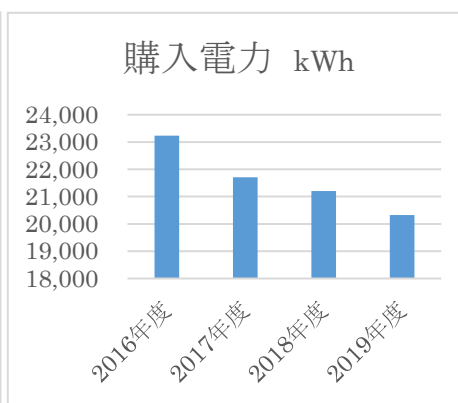
株式会社 第一産業
代表取締役 長谷川 二郎

5. 環境経営計画

環境経営目標	取組	具体的な施策
事業計画及び製品に係わる環境負荷を低減する	・ 個装の形態を変更し簡素化 ・ 小型化を行う ・ 製品を包装梱包する資材の削減 ・ 不良品を出さない工夫をする ・ 商品知識を高める ・ 使用製品の素材管理	・ 製品の簡素化や環境配慮型の製品への切替え提案 ・ 梱包形態の変更等による資源の削減を提案 ・ 仕様変更等、随時システムへの登録を行い発注ミスを防ぐ ・ 展覧会への参加等、回覧や会議を行い、新しい情報は社内共有する ・ 化学物質含有調査等、即時対応し漏れの無い様に行う
二酸化炭素排出の削減、電力使用量及び石油起源エネルギー使用量の削減	・ エアコンの適正温度管理 ・ 電気使用時間の削減 ・ 省エネ設定の推進 ・ ガスストーブの適正温度管理 ・ 不要なガス使用の削減 ・ 車両整備に実施 ・ エコドライブの実施	・ 室内・屋外の温度・湿度をチェックし、適正な空調調整 ・ 最終退室者が責任を持って消灯 ・ トイレ等の消し忘れがないように電気使用時間の削減を心掛ける ・ 事務所以外の照明のLED化推進 ・ 夏湯は給湯器の使用を控える ・ ガスストーブの使用を控える ・ 都度空気圧チェック行う ・ 引続き点検管理行う ・ ディーラー以外でも定期的に点検を行う ・ エコカーへの切替え推進 ・ エコタイヤへの切替え推進
水使用量の削減	・ 設備の節水対応 ・ トイレ水の適正使用	・ 設備の節水対応は完了しているので、節水の啓発 ・ トイレの水は適正な範囲
廃棄物の削減	・ 一般ゴミ、ペットボトルの分別リサイクルの向上 ・ ガートリッジ等は回収リサイクルする ・ 使い捨て製品の購入・使用は出来るだけ削除する ・ 紙資源の削減	・ リサイクルについて知識を増やす ・ リサイクル、分別を徹底する ・ カートリッジ等は回収リサイクルに持って行く ・ 使い捨てか詰替品の品に出来る意識する ・ 社内連絡等で裏紙に出来る物は紙資源の削減の為使用する
環境保全意識の向上	・ 社会貢献活動 ・ 環境保全の意識向上と活動を進める ・ 社内の整理・清掃の徹底	・ AEDの管理を行う ・ 社内研修で意識向上を推進する ・ 会社回りの美化に努める

6. 環境経営目標の実績

項 目		単位	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
			2016. 4 ~ 2017. 3	2017. 4 ~ 2018. 3	2018. 4 ~ 2019. 3	2019. 4 ~ 2020. 3
温室効果ガス排出量		K g - C O ₂	51, 412	57, 458	57, 488	57, 910
総エネ ルギー 投入量	購入電力	kWh	23, 231	21, 704	21, 205	20, 324
	都市ガス	m ³	799	723	513	662
	ガソリン	L	16, 116	19, 416	19, 609	20, 358
ガソリン燃費		Km	11. 37	11. 36	11. 40	11. 73
水資源	上水	m ³	213	227	217	187
廃棄物 等総排 出量	可燃ごみ	Kg	608	310	503	-
	不燃ごみ	Kg	17	20. 5	22. 0	-
	産業廃棄物	t	1. 0	2. 8	0. 91	3. 62
排出量	下水道	m ³	213	227	217	187
資源投 入量	事務用コピー用紙等	Kg	640	755	580	655



7. 環境経営計画の取組結果とその評価

1. 事業活動及び、製品に係わる環境負荷の低減について

- ・植林ペーパーを使用した製品を提案している。
- ・発砲スチロールを段ボール製品に変更して置場の削減や処分の削減をした。
- ・校了印やサインなどメールに残して置く。
- ・販売管理システムへの詳細な情報の登録を行う。
- ・ギフトショーや包装展への参加。
- ・仕入先への工場見学などを行った。
- ・客先からの依頼に随時対応した。

2. 二酸化炭素・電力使用量及びエネルギー使用量削減・水資源削減・廃棄物削減について

- ・温度・湿度を考慮し夏は熱中症にならないように気を配りながら管理した。
- ・不要な照明器具を消す等、節電に心掛けた。
- ・照明器具の交換時に LED 照明に替えた。
- ・社内の人数が増える時間帯は室温が上昇するので、下がるまで消す等した。
- ・トイレは適切な使用ができた。
- ・今期はエコカーの切替えは無かった。
- ・定期点検の際、整備を行った。
- ・急ブレーキ、急発進、またアイドリングをしない事は出来ている。

3. 水使用量の削減について

- ・設備上により、便器を切替えられないが節水を心掛ける事が出来た。
- ・適正使用が出来ている。

4. 廃棄物の削減

- ・定期的なエコの研修を行った。
- ・全てリサイクル回収ボックスへ持って行った。
- ・積極的に詰替品を利用した。

5. 紙資源の削減

- ・プリンターで裏紙を使用するにはリスクがある為、あまり再使用は出来なかった。

6. 環境保全意識の向上

- ・A E Dの管理をする。
- ・各チームが講師になり、研修を行った。
- ・社内の整理清掃し、会社の周りの清掃に努めた。

8. 次年度の取組内容

1. 事業活動及び、製品に係わる環境負荷を低減する

- ・商品知識を高め、簡素化した使用の提案や小型化による輸送コストの削減を行う。
- ・リサイクル可能な梱包資材や廃棄梱包包材を減らす製品の提案を行う。
- ・図面管理台帳を活用し、発注ミスを防ぐ。
- ・仕入先からの新商品案内の回覧やネットなどで積極的に情報収集を行い商品知識を高める。
- ・容器包装ポジティブリストの作成など新たな規制等の情報を把握し、早急な対応に努める。

2. 二酸化炭素排出の削減、電力使用量及び石油起源エネルギー使用量の削減

- ・コロナウィルス感染拡大防止の為、空調・ガストーブの換気を行いながら設定温度を管理する。
- ・引続きムダな電気使用時間の削減を心掛けていく。
- ・照明LED化を引続き推進していく。
- ・社内給湯の利用を減らしていく。
- ・引続きエコカーの切替えを推進していく。
- ・引続きエコタイヤの切替えを推進していく。
- ・ディーラーの点検以外で定期的に点検を行うよう啓発をする。

3. 水の使用量削減

- ・コロナウィルス感染拡大防止の為、手洗い等の使用が増えるが他の使用を控える。
- ・引続き適正な節水を心掛けていく。

4. 廃棄物の削減

- ・リサイクルに関しての新しい技術や、新しい取り組み方等に情報収集し発信していく。
- ・新しい人達にもリサイクル回収している事を伝えるようにする。
- ・消耗品の購入の際、F S C 認定製品・グリーン商品・詰替品を利用するよう心掛けていく。

5. 紙資源の削減

- ・ペーパーレス化に向けてシステムを見直す際に検討していく。

6. 環境保全の意識の向上

- ・引続きペットボトルの回収、A E Dの管理を行う。
- ・次年度も環境関連の研修を行う。
- ・サンプル等デスク周りの整理整頓に努める。
- ・会社周りの美化に努める。

9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

株式会社第一産業

2020年6月17日

法規制	遵守事項	状況・規制値及び測定器	管理方法	担当	評価	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 東京都環境確保条例	①委託契約	・締結	期限常時		○	①収集運搬、中間処分
	②マニフェスト管理	・専用ファイルに保存管理	期限常時	廃棄物削減チーム	○	②専用ファイルに保存
	③廃棄物表示管理	・廃棄物表示、管理	期限常時		○	③廃棄物表示
	④廃棄物分別管理	・廃棄物分別、管理	期限常時		○	④廃棄物分別
	産業廃棄物排出量の届出(埼玉県へ提出)	・指定様式	期限常時	MS事務局	○	埼玉県提出
板橋区事業系一般廃棄物の処理	板橋区長が許可した一般廃棄物処理業者への処理委託	・適正な分別	期限常時	廃棄物削減チーム	○	適正処理と費用
PRTR法	適正化学物質管理	EU RoHS指令等 MSDS入手	要求の都度	環境配慮チーム	○	遵守した
容器包装リサイクル法	①取引先より注文や見積時に紙製品(ダンボール等)及び化成品等無駄のないように設計する	・研修会等で再生容器の知識を高める	期限常時	環境配慮チーム	○	①製品にあった設計を実行している
	②繰り返し使える容器を提案する		期限常時		○	②リサイクルし易い素材の提案に努めている
自動車リサイクル法	①自動車の長期利用	・車検等による検査	期限常時	エネルギー削減チーム	○	①車検等検査にて長期利用を続行
	②使用済み自動車の引渡し	・故障箇所の点検	期限常時		○	②使用済み自動車は新車購入時下取り
	③再資源化促進 引渡し業者へ	・リサイクル料の負担	期限常時		○	③廃車の時はリサイクル負担
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	・アイドリングストップ	・駐車場にアイドリングストップ 表示・駐車時エンジン停止	常時監視	エネルギー削減チーム	○	①駐車場のアイドリングストップの表示②駐車時にエンジン停止続行、取引先に監視お願い続行、全従業員に各々注意する③エコドライブを心がけている
	・エコドライブ	・適切な運転及び適正な管理	常時監視		○	
消防法	・火災予防条例	・消防器具の設置 ・喫煙所設置	消防器具の点検 喫煙所監視	環境配慮チーム	○	①消火器を設置している ②火災報知機を設置している ③喫煙場所を指定している
労働安全衛生法	・健康診断の実施	・従業員全体の健康診断の結果により指導する	年1回	代表者	○	年1回実施
	・ストレスチェック	・チェックテストを用い把握する	3か月に1回		○	各自実施
家電リサイクル法	・OA機器(パソコン・ファックス・コピー機器等)冷蔵庫・エアコン等は排出の際適正処理する	・買い換えの時は購入業者へ廃棄の時は東京都或いは藤ビルメンテナンスにて処理をする	期限 処理発生時	廃棄物削減チーム	○	リサイクル業者にて引取
下水道法	・排出基準流量	50㎡以下/月		エネルギー削減チーム	○	・排水の管理を徹底している ・水質規制を遵守している
エコポリス板橋クリーン条例	・事業者の責務として、環境に配慮した事業活動を行い、区が実施する環境保全に関する施策や、環境美化に関する施策に協力しなければならない	・特にない	期限 常時監視	廃棄物削減チーム	○	・廃棄物の削減 ・煙草のポイ捨てをしない
和光市環境基本条例	・事業者の責務として、市が定める環境理念に則り事業活動を行うこと	・特にない		廃棄物削減チーム	○	・廃棄物の削減 ・電力使用量の削減
	・事業活動を行うに当たっては、公害の発生を防止し、廃棄物を適正に処理する事。					
	・再生資源その他の環境への負荷の低減に資する原材料、役務等を利用するように努めなければならない					
グリーン購入法	物品購入時ではできる限り環境物品等の選択に努める	・集計表	購入都度	廃棄物削減チーム	○	・積極的に購入している
フロン排出抑制法	・簡易点検	・点検の記録	四半期ごと	取締役	○	・年4回実施
違反・訴訟の有無	環境関連法規及び条例への違反は有りません。なお、関係機関より違反等の指摘、訴訟は過去3年間ありません。					

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表取締役：長谷川 二郎

令和 2年 6月 24日

2019 年度の目標の取組みについて

達成率・・・未達成 5 か所あるもいずれも内容について納得出来、

目標は達成されたものと思います

2019 年度は営業部員の増員あり、おのずと営業車の台数が増えたが維持管理は出来ていると見た

又、産業廃棄物については得意先より廃棄して欲しいとの申し出により引取った物で、それが大部分との事で当社にて発生した物ではなく今後はそのような物品は判別し当社の廃棄物としない事とした

2020 年以降は新型コロナウイルスにより環境が一変したが「人命ファースト」で経営し、又事業形態など大きく変化すると思うが、どのような環境であろうとも蓄積された経験をもとに常に省エネを念頭に置き、地球環境・海洋汚染等を考え安心安全な商品を生産して行く事です

良い事は積極的に取り組み常に前進する事を心掛けて下さい

11. 認証12年継続にあたり

当社は、エコアクション21の認証から2019年度で12年を迎えました。

認証当初より、CO2削減に力を入れて参りました。温室効果ガス排出量に関しては**26.1%**の削減をしました。この数字は、2017年7月に地球温暖化対策推進本部に国連気候変動枠組条約事務局に提出された、我が国の約束案、2030年度に2013年比**▲26.0%**であり、当社はこの目標値を僅かに下回っています。EA21の取組を更に意識する事が大事だと改めて認識しました。

代表者の環境への方針と、従業員一人一人の環境への取組が大きな成果を生んだものです。これからも、さらに広い視点で環境活動に、全社あげて取り組んで行きたいと思えます。

2008年度と2019年度の実績

	単位	2008年度	2019年度	削減率
温室効果ガス排出量	kg-CO2	78,386	57,910	26.12 %
購入電力	kWh	29,188	20,324	30.4 %
都市ガス	m ³	879	662	24.7 %
ガソリン	L	26,681	20,358	23.7 %
水使用量	m ³	336	187	44.3 %

開始当初2008年度と2019年度の比較

